

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 映画プログラム ■

- 『リンカーン弁護士』 『キツツキと雨』 『だれもがクジラを愛してる。』
 『少年は残酷な弓を射る』 『BRAVE HEARTS 海猿』 『シャーク・ナイト』
 『ネイビーシールズ』 『スノーホワイト』 『幸せへのキセキ』
 『映画ホテルノヒカリ』 『グレイヴ・エンカウンターズ』 『ジェーン・エア』
 『アメイジング・スパイダーマン』 『ワン・デイ 23年のラブストーリー』
 『Beyond the ONEDAY ~Story of 2PM & 2AM~』
 『ヘルタースケルター』 『スターシップ・トゥルーパーズ インベイジョン』
 『ダークナイト ライジング』 『マダガスカル3』

■ 松竹系 7月公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
新橋演舞場	『ヤマトタケル』	○			
	『将軍江戸を去る』	○			
	『二代目市川猿翁 四代目市川猿之助 九代目市川中車 襲名披露 五代目市川團子初舞台 口上』			○	○
	『黒塚』	○			
	『楼門五三桐』	○			
南座(京都)	『ラブ・メルヘン シンデレラ・パリ』(OSK)			○	○
	『グラン・ジュテ 今、私たちは跳ぶ』(OSK)				
	『打男DADAN』			○	○
松竹座(大阪)	『双蝶々曲輪日記 引窓』	○			
	『棒しばり』	○			
	『荒川の佐吉 江戸絵両国八景』	○			
	『義経千本桜 渡海屋・大物浦』	○		○	○
	『三代目中村又五郎 四代目中村歌昇 襲名披露口上』				
	『道行初音旅 吉野山』	○			
	『天衣紛上野初花 河内山』	○			
まつもと市民芸術館	『天日坊』	○		○	
地方巡業(東コース)	『義経千本桜 鳥居前・道行初音旅・川連法眼館』	○		○	○
地方巡業(中央コース)	『お目見得御挨拶』				
	『夕霧名残の正月』	○		○	○
	『曾根崎心中』	○			

ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします

■ 他社公演資料 ■

あうるすぽっと	6月	『骨唄』プログラム
大阪新歌舞伎座	7月	『川中美幸特別公演』プログラム
吉祥寺シアター	7月	『高さ彼物』プログラム
紀伊國屋ホール	6月	『玄界灘』プログラム、台本
国立劇場小劇場	6月	『伎楽 日本伝来一四〇〇年』プログラム 『邦楽名曲鑑賞会 掛合の美』プログラム 『東北の芸能 I 岩手』プログラム 『文楽若手会』プログラム
国立劇場大劇場	7月	『国立劇場第八回歌舞伎鑑賞教室 毛抜』プログラム、台本
国立文楽劇場	6月	『第29回文楽鑑賞教室』プログラム
シアタークリエ	6月	『飛び加藤 幻惑使いの不惑の忍者』プログラム
シアターサンモール	7月	『ら・ら・ら』プログラム、台本
新国立劇場小劇場	6月	『温室』プログラム
青年座劇場	6月	『THAT FACE その顔』プログラム、台本
天王洲銀河劇場	6月	『ミラクル』プログラム
俳優座劇場	6月	『東京原子核クラブ』プログラム
博多座	7月	『ミュージカル エリザベート』プログラム、ポスター
博品館劇場	6月	『ハワイアンナイト』プログラム 『10周年記念朗読の日』プログラム 『新撰組あと始末記』プログラム
本多劇場	6月	『リトルショップ・オブ・ホラーズ』プログラム、台本
御園座	7月	『前川清特別公演、御園座さよなら公演』プログラム
明治座	7月	『北島三郎特別公演』プログラム
ル テアトル銀座	6月	『シャボン玉とんだ宇宙までとんだ』プログラム
	7月	『朗読劇ユンカース・カム・ヒア』プログラム
	7月	『男の花道』プログラム、台本

■ 書 籍 ■

『坂東玉三郎 舞台』	福田尚武 (写真)	小学館
『幕のうちそと 歌舞伎観たまま感じたまま』	丹羽敬忠 (著)	有楽出版社
『若松プロ、夜の三銃士』	平岡正明 (著)	愛育社
『映画ポスター大林コレクション I I 思い出のスクリーン』		群馬県立歴史博物館
『貞永方久監督を偲ぶ』		私家版
『松竹歌劇の60年 レビューの舞台とスターたち』		台東区下町風俗資料館
『アメリカ人の観た歌舞伎評』		外務省情報文化局
『回帰する演劇学と演劇学会 草創期をめぐる私的回想』	河竹登志夫 (著)	
『歌舞伎海外公演が教えるもの』	河竹登志夫 (著)	
『歌舞伎研究と西洋』	河竹登志夫 (著)	
『外から観た歌舞伎』	河竹登志夫 (著)	

■ 演劇雑誌 ■

『あぜくら』平成24年7月号

『舞台芸術研究』2012年17号

〔《特集》巻頭言 今こそ蘇えりの＜新生＞ドラマが必要 神永光規／修士論文：大学における『俳優』の育成に関する心理的サポート 榎本万里子〕

『Confetti』2012年AUGUST Vol. 92

『Confettiかわら本』2012年8月号

『伝統文化新聞』2012年(74号)、暑中号

『演劇ぶっく』2012年8月号

〔《特集》表紙 阿部サダヲ／劇団☆新感線『シレンとラギ』高橋克実×橋本じゅん 中島かずき〕

『演劇界』2012年8月号

〔《特集》新橋演舞場『小栗栖の長兵衛』『口上』『義経千本桜』『ヤマトタケル』／澤瀉屋襲名披露開幕！／〈座談会〉六月襲名披露興行を語る 奈河彰輔×水落潔×山川静夫 《インタビュー》中村梅玉〕

『演劇界』2012年9月号

〔《特集》新装刊五周年記念 特別対談特集 歌舞伎の愉しみ 坂東玉三郎×真山仁 坂東三津五郎×池内紀 中村七之助×小松成美 《インタビュー》中村橋之助／小山三ひとり語り「若草座」の人々〕

『演劇創造』2012年41号 〔《インタビュー》小山薫堂 《特集》震災と演劇〕

『悲劇喜劇』2012年8月号

〔《特集》続・戯曲の書き方 《掲載戯曲》『臨海幻想2011』ふじたあさや／『宮本武蔵』前田司郎〕

『ひろば』2012年122号

『邦楽の友』平成24年8月号

『ほうおう』2012年9月号

〔《インタビュー》市川海老蔵 《特集》OSK日本歌劇団創立90周年記念／新派四季暦 南座十一月公演 二人の“ヒロイン”インタビュー〕

『ジョイン』2012 Jul. No. 75

〔《特集》中津留章仁(劇作家・演出家)／検証座談会 演劇の公益性をめぐって 西川信廣 宮田慶子 鴻上尚史 大和滋 大笹吉雄〕

『JPL』2012年Summer No. 46 〔《特集》「サンセット大通り」待望の日本初演〕

『喝采』2012年10月 〔《特集》博多座十月公演：コロケ錦秋喜劇公演〕

『国立演芸場公演ガイド』平成24年8月号

『ミュージカル』2012年7月-8月号

〔《特集》『ルドルフ ザ・ラスト・キス』／大型ミュージカルの全国展開〕

『日本芸術文化振興会ニュース』平成24年8月号

『日本照明家協会雑誌』2012年7月号

〔《インタビュー》(株)TBSテレビ 近藤明人さん 《特集》公益社団法人日本照明家協会 第39回 定時総会／平成23年度 第31回公益社団法人日本照明家協会 協会賞授賞式及び授賞懇親パーティ〕

『日本舞踊』64巻8月号

〔《特集》秘曲・新曲サロン 大和楽 お春望郷／舞踊写真教室 舞踊小唄 霊峰富士(上)〕

『日本演劇興行協会会報』2012年(42号)

『OISTAT日本センターNEWS』2012 July Vol. 7

『ラ・アルプ』2012年8月号

〔《特集》見よ、劇団四季オリジナルミュージカルの底力を。『夢から醒めた夢』『青い鳥』連続上演〕

『埼玉アーツシアター通信』2012年7月-8月号 〔《特集》尾上菊之助×蜷川幸雄〕

『SePT倶楽部 information』2012年7月号

『シアターガイド』2012年9月号

〔《特集》「ふくすけ」古田新太&阿部サダヲ&松尾スズキ 多部未華子 大竹しのぶ／「挑む〜外伝〜」中村七之助&尾上松也〕

『匠の技 歌舞伎座をつくる』6号

〔《特集》フォト・ドキュメント「建ちあがる歌舞伎座」／「私と歌舞伎座」山田洋次映画監督／編集長インタビュー 施主、設計、施工担当者が語る「歌舞伎座建替え」／匠たちの証言／歌舞伎座建築学〕

(新規登録資料案内 演劇雑誌 続き)

『テアトロ』2012年8月号

[[特集] 戦争と劇作家の視点/追悼 さようなら 大橋喜一さん 《掲載戯曲》「ボクゼン」大谷美智留 / 「審査員」池田政之]

『テアトロ』2012年7月臨時増刊号(864号) 演劇名鑑2013年度版

■ 映画雑誌 ■

『ドラマ』2012年8月号

[[特集] 第12回テレビ朝日21世紀新人シナリオ大賞受賞作発表/名著抄録『シナリオ作法四十八章』 / 藤川桂介 時代が見える プロファイル脚本術]

『映画テレビ技術』2012年8月号

[[特集] 『スターシップ・トゥルーパーズ インベイジョン』 荒牧伸志監督に聞く/映画「岳—ガク—」の美術〜雪と氷と岩を中心に〜]

『映画時報』2012年7月号

[[インタビュー] 東宝(株) 島谷能成代表取締役社長 《特集》新宿東宝ビル、15年春開館へ地鎮祭 挙行 / 東映、第89期定時株主総会/第31回「藤本賞」授賞式]

『映画秘宝』2012年9月号

[[特集] 「超」怖い映画/『ジャンゴ 繋がれざる者』日本最速インタビュー! タランティーノ×町山智浩!]

『映画論叢』2012年(30号)

[[特集] 新東宝からピンク映画へ ヒットメイカー・小森白の秘密/幻の今井正自伝を読む 尾形敏朗 / 聖林好色一代女 バーバラ・ラ・マール 中田耕治]

『衛星劇場プログラムガイド』2012年8月号

『エキブ・ド・シネマ』2012年No. 189 [「ジョルダナーニ家の人々」]

『キネマ旬報』2011年増刊7月4日号 ANIME KINEJUN Vol. 1

[[特集] 「鋼の錬金術師 嘆きの丘の聖なる星」 / 「トワノクオン」]

『キネマ旬報』2012年増刊7月17日号 ANIME KINEJUN Vol. 2

[[特集] 「おおかみこどもの雨と雪」 / 「グスコブドリの伝記」]

『キネマ旬報』2012年7月下旬号

[[特集] 「苦役列車」 西村賢太 [原作] VS 山下敦弘 [監督] / 新藤兼人と映画の百年]

『キネマ旬報』2012年8月上旬号

[[特集] ヒーローがやってきた! 「アベンジャーズ」 / 安岡力也そしてスクリーンを横切った俳優たち]

『日経エンタテインメント!』2012年8月号

[[特集] 男に売れてる本 女が読みたい本 / 2012夏ドラマ / 注目夏映画の作り方]

『ロケーションジャパン』2012年8月号

[[特集] 松坂桃李『ツナグ』 / 誰もが憧れたヒーロー&ヒロインが生まれたロケ地 / ドラマチック鉄道]

『SCREEN』2012年9月号

[[特集] 2012必見夏映画スペシャル! / リメンバー、マリリン・モンロー / スターの最新作超先取り]

『シナリオ』2012年9月号

[[掲載シナリオ] 「桐島、部活やめるってよ」 喜安浩平 吉田大八 / 「こっぴどい猫」 今泉力哉 《インタビュー》 吉田大八 / 今泉力哉]

『シナリオ教室』2012年8月号

[[掲載シナリオ] 第3回TBS連ドラ・シナリオ大賞: 『I Believe』(大賞) 門田雅史 / 『劇団プロ野球』(佳作) 村上美然]

『松竹(社報)』2012年(170号)

『友 Iwanami Hall』2012年夏号No. 374

『TVガイド』2011年10/28号、11/4号、11/11号、11/18号、11/25号、12/2号、12/9号、12/16号、2011年12/17-2012年1/9号、1/13号、1/20号、1/27号、2/3号、2/10号

『ザ・テレビジョン』2011年10/28号、11/4号、11/11号、11/18号、11/25号、12/2号、12/9号、12/16号、2011年12/17-2012年1/9号、1/13号、1/20号、1/27号、2/3号、2/10号

第24回 松竹大谷図書館所蔵資料展示 「オリンピック映画」展



展示期間：2012. 7/27～8/29（8/4～8/19は夏期休館）
於：松竹大谷図書館閲覧室

四年に一度の祭典、オリンピックがロンドンで開幕しました！

オリンピックの記録映画は、正式なものとしては1908年の第4回ロンドン・オリンピックの映像があります。1948年にはオリンピック憲章が制定され、第49条で公式記録映画を残すことが義務づけられました。以後、開催毎に記録映画が製作されています。東京オリンピックの市川崑監督など、著名な監督が撮影し、劇場公開されたものもあります。その一方で、オリンピックでのドラマチックな実話を元にした映画作品も多数製作されました。アカデミー賞を受賞し、名作となった「炎のランナー」などが有名です。今回のオリンピックの開会式でも、そのテーマ曲が演奏されました。今月は、当館の所蔵資料から、夏季オリンピックに関する作品の資料を数点展示いたしました。

『民族の祭典』 スチール、プログラム

第11回ベルリン・オリンピック（1936年）

監督：レニ・リーフェンシュタール

1940年6月公開／ドイツ

第一部『民族の祭典』及び第二部『美の祭典』の二部作は『オリンピア』と通称されている。

それまでのニュース映画が主だったオリンピック記録映画と異なり、芸術的に構成・演出された記録映画史上不滅の名作。当時ナチスがオリンピックを国家高揚のチャンスと捉え、国力を傾けたこともあり、膨大な製作費が費やされた。『民族の祭典』は陸上競技中心に撮影され、日本人選手の活躍も見られる。公開当時空前の興行成績をあげ、同年の日本映画雑誌協会映画賞外国映画のベスト・テン第1位に入選した。1938年ヴェネツィア国際映画祭最高賞（ムッソリーニ賞）受賞。

『美と力』 プレス

第16回メルボルン・オリンピック（1956年）

1956年3月完成／日本

メルボルン・オリンピックを目指す日本の体操選手の演技を紹介した短編ドキュメンタリー。男女の選手による鉄棒、平行棒、吊環、鞍馬、徒手や段違平行棒、平均台、跳馬などの美技が展開される。

『東京オリンピック』

スチール、プログラム、シナリオ本

第18回東京オリンピック（1964年）

総監督：市川崑

1965年3月公開／日本

日本及びアジアで初めて開催され、戦後日本の復興の象徴となった東京オリンピックの記録映画。1965年度カンヌ国際映画祭で国際批評家賞・青少年向最優秀映画賞を受賞。556人のスタッフ、製作費用3億7千万円、フィルム長さ約40万フィート（富士山の高さの約40倍）、カメラは合計103台というスケールで製作された。単なる記録映画に止まらない創作的な映像のため、公開当時「記録か芸術か」という議論が巻き起こった。

『時よとまれ 君は美しい ミュンヘンの17日』 プログラム

第20回ミュンヘン・オリンピック（1972年）

監督：ユーリー・オゼロフ、マイ・ゼッターリング、アーサー・ペン、ミハエル・フレージャー、市川崑、ミロシュ・フォアマン、クロード・ルルーシュ、ジョン・シュレジンジャー

1973年9月公開／アメリカ

世界各国の一流の映画監督8人の手によるオムニバス方式の公式記録映画。日本からは市川崑監督が参加し、陸上100メートル決勝を担当している。個性ある芸術家達が、それぞれの自由な発想やテーマを元に撮ったユニークなドキュメンタリーとなっている。

『炎のランナー』 プログラム

第8回パリ・オリンピック（1924年）

監督：ヒュー・ハドソン

1982年8月公開／イギリス

1981年に英国アカデミー作品賞・アカデミー作品賞を同時に受賞した名作。100メートル走と400メートル走でそれぞれ金メダルを獲得した、ユダヤ人と宣教師、二人のイギリス青年の実話を描いた作品。今年のロンドン・オリンピックでも、オープニングの名シーンを再現した聖火リレーが、実際に映画が撮影されたビーチ「ウェスト・サンズ」で行われた。

『ロンリーウェイ』 プログラム

第18回東京オリンピック（1964年）

監督：ドナルド・エベレット

1984年5月公開／アメリカ

東京オリンピックの1万メートル競走で金メダルを獲得した、インディアンの血を引くアメリカ人ピリー・ミルズの半生を描く伝記映画。他の走者による走路妨害で遅れをとったにも関わらず、驚異的なラストスパートをかけて逆転優勝を果たしたミルズの走りは、「オリンピック史上最もセンセーショナルな逆転」と評された。

『わが心の歌舞伎座展』に展示出品

平成24年8月16日から21日まで、池袋の〈東武百貨店〉で開催される『わが心の歌舞伎座展』に、当館所蔵資料の歌舞伎座プログラム、十一代目市川團十郎襲名披露興行ポスター、さよなら公演の切符袋などを展示出品いたします。

夏期特別整理休館のお知らせ
館内整理のため、下記の期間休館いたします
平成24年8月4日(土)より8月19日(日)まで
8月20日(月)より通常通り開館いたします

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々

(了承を得た方のみ掲載)

法人・団体 (50音順・敬称略)

- 株式会社衛星劇場
- 株式会社歌舞伎座
- 歌舞伎座サービス株式会社
- 歌舞伎座舞台株式会社
- 松竹株式会社
- 松竹衣裳株式会社
- 松竹映画劇場株式会社
- 株式会社松竹映像センター
- 松竹音楽出版株式会社
- 松竹芸能株式会社
- 株式会社松竹サービスネットワーク
- 株式会社松竹マルチプレックスシアターズ
- 財団法人 昭和池田記念財団

どうもありがとうございます

■ 編集後記 ■

8月現在、二週間にわたる夏期特別整理休館をさせていただきました。期間は、開館中にできないことに、スタッフ全員で取り組める貴重な期間です。それは基本的に、肉体労働となることがほとんどです。今回の主な肉体労働は、棚替えです。棚に本を入れるスペースが少なくなってきたとき、どこかの棚へ移したり、次の棚へ本を送り、ずらしていったりします。紙というものは軽いもの。けれど沢山の本となると重いもの。細腕(?)のスタッフ一同で協力し合いながら、重い本を移動させています。また、本の増え方も予測してスペースを確保しなければいけないので、それなりに頭も使います。より良い蔵書をつくるために、力と頭を使って、暑い日々がんばっております。

